



## 果菜類の栽培管理について



秋田地区営農センター 長尾 梨那

### ●トマトの温度管理

生育好適温度は、昼間25～26℃、夜間12～13℃、地温20～23℃です。  
花粉発育には最低13～15℃、最高32.5℃以下、開花のためには15℃以上が必要です。  
夏場はハウスツマ面を撤去し、通風を良くし温度の上昇を防止してください。  
収穫は朝の涼しい時間帯に行い、収穫後も涼しい場所においてください。



### ●トマトの追肥・灌水

3段花房開花期前の追肥は原則として不要ですが、樹勢が弱い場合は灌水で様子を見ながら行います。灌水は3段花房開花期頃まで控えその後は積極的に施し、盛夏期は晴天時で1株当たり1～1.5Lが目安です。  
2～3段花房開花期以降は急激に樹勢が落ちるため、100㎡当たり窒素成分で0.2～0.3kgの穴肥を施します。  
S646をお使いいただくことをおすすめします。

### ●ナスの温度管理

生育適温は昼間25～28℃、夜間14～15℃で、根の生育には20℃前後が適しています。

### ●ナスの灌水

ナスは果実の95%近くが水分のため、収穫中に高温乾燥が続くと生育が弱ってきます。乾燥期には土が乾きすぎないように、時々早朝か夕方に灌水すると効果的で、灌水と併せて追肥も行いましょう。高温乾燥期に水分が不足しがちなので注意が必要です。

### ●ナスの追肥

7月上旬の収穫始期から追肥を行い、その後の生育状況をみながら10～14日間隔で追肥します。  
健全な株は花の咲いている先に葉が4～5葉展開し長花柱花が多いが、草勢が衰えてくると短花柱花が多くなるので追肥は早めに行いましょう。

### ●ナスの収穫の注意点

定植後30日程度でガクを除いた果実長が5～10cmに達するので収穫を開始します。  
収穫後、果実から水分が発散すると皮のツヤがなくなり品質低下につながるため、品温の高い時間帯の収穫を避け、品温を上げない環境下で選果しましょう。



### ●トマト・ナスの病害虫

これからの時期は花弁や果実に灰色のカビが生じ、果柄、主枝に被害が広がる「灰色かび病」等の病気に注意してください。併せて、収穫後等に樹勢が落ちるとうどんこ病にも注意が必要です。また、アブラムシやハダニ等の発生盛期になるので注意が必要です。

### ●主な薬剤

薬剤名	症状	希釈倍率	使用時期	使用回数	
ロブラール水和剤	灰色かび病	1000～1500倍	収穫前日まで	トマト:4回以内 ナス:4回以内	散布
ダコニール1000	うどんこ病	1000倍	収穫前日まで	4回以内	散布
マラソン乳剤	アブラムシ類 ハダニ類	2000～3000倍	収穫前日まで	トマト:5回以内 ナス:6回以内	散布

